

医療者用 西濃地区地域連携診療計画書（大腿骨近位部骨折）

患者氏名 殿 生年月日 平成 年 月 日 （患者ID：_____）

病名： ☐右 ☐左 大腿骨骨折（☐頸部 ☐転子部 ☐転子下）

◆ 受傷日：平成 年 月 日

手術日： 平成 年 月 日 手術名 ☐骨接合（_____） ☐人工骨頭

適応基準		大腿骨近位部骨折（頸部・転子部・転子下）で手術を行い 連携パスを共有する医療機関・老健施設と連携して治療を継続する場合			転院・転所基準と時期目安		車椅子に移乗できる、ある程度の歩行能力獲得		手術から14日	
					退院・転所基準と時期の目安		受傷前の歩行状態に近くなり、在宅・施設の生活に適応できる		手術から60日以内	

		手術実施病院（ 病院）			転院先医療機関・老健施設（ ）		在宅または施設		
		手術後週末まで		術後1～2週	転院・転所まで（ / ）	入院・入所日（ / ）	退院・退所まで（ / ）	退院後	
達成目標（アウトカム）	患者状態	循環動態が安定している 呼吸状態が安定している 創痛が管理できている 創に問題がない（持続出血がない） 感染徴候がない		循環動態が安定している 創痛が自制内（鎮痛剤を必要としない） 創に問題がない（発赤や滲出液がない） 感染徴候がない（発熱や創の異常がない）	創痛が自制内 創に問題がない 感染徴候がない	創痛が自制内 創に問題がない 感染徴候がない	感染徴候がない	骨折部の疼痛がほとんどない 創部に問題がない	
	生活動作	坐位ができる（ベッド端坐位） 車椅子に乗車できる（介助） 転倒・転落がない		車椅子に乗車できる（自立または介助） 歩行器歩行ができる（受傷前同歩行可能だった場合） 転倒・転落がない（ベッドや車椅子からの転落、立位・歩行時の転倒がない）			受傷前の歩行状態に近くなる （適宜、杖を使用するなどして） 転倒・転落がない		受傷前の歩行状態への復帰 転倒・転落がない
	知識理解	患部の安静について知っている 脱臼防止の理解（人工骨頭の場合）		脱臼防止の理解（人工骨頭の場合） 転院の必要性の理解（本人・家族）	脱臼防止の理解（人工骨頭の場合） 転院の必要性の理解（本人・家族）	脱臼防止の理解（人工骨頭の場合）	脱臼防止の理解 退院後の生活の理解		かかりつけ医への受診の必要性の理解
	合併症	・腓骨神経麻痺がない （足趾、足関節の背屈障害、シビレ等） ・褥創がない （仙骨部、背部、大転子部など）		・深部静脈血栓症がない （腘腹部の腫脹や疼痛がない） ・術後創感染がない （手術創周囲の発赤・熱感・腫脹、排膿がない）	・肺塞栓症がない （息苦しさがない） ・脱臼がない （人工骨頭の場合）	腓骨神経麻痺がない 肺塞栓症がない 術後創感染がない	深部静脈血栓症がない 褥創がない 脱臼がない （人工骨頭の場合）		晚期創感染がない 脱臼がない（人工骨頭の場合）

退院時情報	入院前歩行能力 ☐ 独歩 ☐ 杖歩行 ☐ 歩行器歩行 ☐ 伝い歩き ☐ 車椅子 ☐ 寝たきり		退院時歩行能力 ☐ 独歩 ☐ 杖歩行 ☐ 歩行器歩行 ☐ 伝い歩き ☐ 車椅子 ☐ 寝たきり		介護保険 ☐ 無 ☐ 有 ☐ 申請中 ☐ 要支援（ ） ☐ 要介護（ ） 自宅（ ☐ 独居・ ☐ 同居 人暮らし） 元入所施設（ ） キーパーソン（ ）		連携先の退院・退所時歩行能力 ☐ 独歩 ☐ 杖歩行 ☐ 歩行器歩行 ☐ 伝い歩き ☐ 車椅子 ☐ 寝たきり		連携先の退院・退所後 ☐ 自宅 ☐ 施設（ ） ☐ 療養型病院（ ） ☐ その他（ ）	
	既往歴						その他の特記事項			
	リハビリ上の注意点 ☐ 全荷重可 ☐ 部分荷重（ / ） ☐ 荷重は不可 （開始時間の目安 月 日頃）		その他の特記事項 禁忌事項： ☐ 無・ ☐ 有（ ） 問題行動： ☐ 無・ ☐ 有（ ） 認知症： ☐ 無・ ☐ 疑い・ ☐ 有 訓練意欲： ☐ 無・ ☐ 有 痛み： ☐ 無・ ☐ 有（部位 ）		連携先の退院・退所時の希望 ☐ 自宅 ☐ 施設 ☐ 療養型病院 ☐ その他（ ）					
平成 年 月 日		病院 整形外科 主治医		平成 年 月 日		連携医療機関・老健施設名： 主治医：				